

# MEMU レター

マダニとSFTS 2017.8

7月24日、昨年の夏に野良猫にかまれた女性がSFTSを発症し死亡されていたことが厚生労働省などにより明らかにされました。

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)は通常SFTSウイルスをもつマダニにかまれることにより発症し、今回のように猫から人という、哺乳類から人への感染が確認されたのは初めとのことだそうです。このニュースを耳にされて不安になられた方も多いのではないのでしょうか。

ダニはSFTSだけでなく様々な問題を引き起こす可能性がありますので、ワンちゃんのオーナーの皆様は以前より予防の重要性をご理解いただいていることと思います。

月に1回のフィラリア・ノミ・ダニ予防をお忘れなく!

## 猫とダニ

このニュースは犬派の方より、猫派の方にショックが大きかったかもしれません。

まず言えることは、野良猫さんには十分な注意を払って接触して下さい。こちらが悪意を持っていないくても、ノラさんとして苦労している子は人に対して過敏に反応してしまう子がいます。特に子供をもった母猫は危険です。

では我が子かというと・・・現在、当院で処方している予防薬はダニに対しては効果がありません。国内外で使われている予防薬のほとんどが同様です。理由は現実問題としてほとんどの飼い猫にはダニがつかないからです。毛づくろいをするためとも言われていますがはっきりとした原因はわかっていません。

ノラさんとの接触がある等でご心配な方には現在のノミ予防薬を**ブロードライン**というお薬に変えることをお勧めいたします。お気軽にご相談ください。

**ブロードライン**：ノミ・ダニ・フィラリア・内部寄生虫に効果がある唯一のお薬です。不要な薬剤を投与して欲しくない、価格が高いとの理由で当院ではお勧めしておりませんでした。

まるつか動物病

